

コバルト調査に関して(CRTの書き方)

本資料に関する注意事項

本資料は、コバルトサプライチェーン上の製錬所等を特定し、デューディリジェンス情報を収集するため、2018/12/21にRMIから正式発行された帳票 CRT (Cobalt Reporting Template) Revision 1.1 の書き方について、調査背景等を含めて示したのですが、JEITAの「責任ある鉱物調達検討会」において、わかる範囲で纏めたものであり、CRT記載にあたっては、原文を確認し、個社の判断で実施ください。

なお、2019年春、次期改訂版がリリースされる予定です。

目次

1. コバルトサプライチェーン調査の背景と
CRT(コバルト調査帳票)を用いた調査概要
2. CRT記入要領
Declaration, Cobalt Smelterの定義,
Smelter List, Product List, Checker
RMIウェブサイトの活用方法

1. コバルトサプライチェーン調査の背景

米国DF法のような法律・規制はないが、コバルトの人力採掘における安全でない労働環境や児童労働に対する懸念が浮上したことが発端。

RMIのWEB上に以下のような説明があります。

<http://www.responsiblemineralsinitiative.org/emerging-risks/cobalt/>

コンゴ民主共和国(DRC)は、世界最大のコバルト生産国であり、全世界埋蔵量の50%以上を保有している。コバルトは、電気自動車、携帯電話、ノートパソコンに不可欠なリチウムイオン電池に使用されており、コバルト需要は今後数年で大幅に増加すると予想されている。

コバルトは、機械及び人力により採掘されるが、最近の報告では、安全でない労働環境や児童労働に対する懸念が浮上している。

2017年初め、RMI(旧CFSI)メンバーは、「コバルトの責任ある調達、特に、DRCのコバルト採掘における児童労働事例に関連するリスク」に焦点を当てたワーキンググループを設立。そこを通し、各企業は、コバルトサプライチェーンの「透明性」を高めると共に、サプライチェーン関係者と協力してコバルトの責任ある調達を推進している。

1. CRTを用いた調査概要（CMRTとCRTの比較）

項目	CMRT	CRT
背景(法律)	米国DFA1502条	規制遵守要件なし 人権問題等への世界的関心の高まり (DRC コバルト鉱山での非安全性・児童労働懸念)
被規制者	米国上場企業	NA
調査対象	3TG : Tantalum (タンタル), Tin (スズ), Gold (金), Tungsten (タングステン)	Cobalt (コバルト)
対象地域	DRC及び周辺9ヶ国	CAHRA(紛争地域および高リスク地域)
リスク	武装勢力の資金源か否か	OECD ガイダンス付属書II
2018/12/21 時点最新版	Rev.5.11	Rev.1.1
罰則規定	記載なし	NA
帳票集計 ツール	提供あり(JAMA作成)	提供なし

2. CRT記入要領（概略）

CRT (Cobalt Reporting Template) はCMRT同様8つのタブから成る
(Rev.1.1版は、英語、中国語、日本語のみ選択可能)

- Revision : 改訂記録
- Instruction : 背景、記入要領の説明
- Definitions : 用語の定義
- Declaration : 会社情報、設問1～6、質問A～I <記入必須>
- Smelter List : 製錬所記入表 <記入必要な場合有^{#1}>
- Checker : 記入不足などのチェック機能
- Product List : 対象となる製品リスト記入表 <記入必要な場合有^{#2}>
- Smelter Look-up : 製錬業者名リスト^{#3}

#1 : Declaration設問1が“Yes”となる場合は記入必須

#2 : 申告範囲(Declaration 9行目)が“B: Product Level”の場合は記入必須

#3 : Smelter Look-upは、CRT発行時の製錬業者名一覧表

2. CRT記入要領 (Declaration 会社情報)

Declaration タブの8～22行目は、CMRTと同じ項目であり、記入方法も同じ。

- ✓「申告範囲又はクラス」で、
 - B Product Level を選んだ際は、Productタブに、適用される製品名を入力。
 - C User defined [Specify in ‘Description of scope’] を選んだ際は、10行目に申告範囲の説明を記入。
- ✓ 22行目の記入日は、DD-MMM-YYYY 形式で記入。
例： 01-Jan-2019

2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

1) Is any of the cobalt intentionally added or used in the product(s) or in the production process?

1) 製品自体や製造過程で、**コバルトが意図的に付加又は使用**されていますか？

Yes : コバルトが、製品の仕様や機能上、又は生産プロセスで必要なため意図的に添加又は使用している場合は、含有量に関係なく「**Yes**」となる。

No : コバルトを意図的には添加又は使用していない場合は、不純物として混在したとしても、「**No**」となる。

Unknown : 意図的な添加、使用が不明な場合は、「**Unknown**」とする。

1. 収集したCRTの回答に1つでも「Yes」があれば、貴社の回答は「Yes」になる。
2. 収集したCRTの回答が全て「No」であれば、貴社の回答は「No」になる。
3. 上記以外の場合、貴社の回答は「Unknown」になる。

設問1の回答が「**Yes**」になる場合は、以降の設問(2～6, A～I)への**回答が必須**になる。

2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

- 2) Do any of the smelters in your supply chain the source cobalt from a Conflict-Affected and High-Risk area?
(OECD Due Diligence Guidance, see definitions tab)

- 2) 貴社サプライチェーン内のいずれかの製錬業者が、コバルトを紛争地域および高リスク地域から調達していますか？
(OECDデューディリジェンスガイダンスは「定義(Definitions)」タブを参照)

紛争地域および高リスク地域: **CAHRA** (Conflict-Affected and High-Risk Area)

Yes : CAHRAから調達している場合。(Comments欄に具体的に記入)

No : CAHRAから調達していない場合。

Unknown : CAHRAから調達しているか不明な場合。

DRC or adjoining countries only : DRC及び周辺国からのみ調達している場合。

収集したCRT回答が多岐に亘る場合、右表を参考に、コメント欄も活用して貴社回答を作成下さい。

DRC+9 : DRC or adjoining countries only

収集したCRTの組合せケース				貴社CRT回答	
Yes	No	Unknown	DRC+9	Answer	Comments
☐	☐	☐	☐	Yes	including DRC+9
☐	☐	☐		Yes	
☐	☐		☐	Yes	including DRC+9
☐		☐	☐	Yes	including DRC+9
☐	☐			Yes	
☐		☐		Yes	
☐			☐	Yes	including DRC+9
	☐	☐		Unknown	
	☐		☐	DRC+9	
		☐	☐	DRC+9	including Unknown
	☐	☐	☐	DRC+9	including Unknown

2. CRT記入要領（CAHRAの定義）

OECD DD(デューディリジェンス)ガイダンス付属書Ⅱにおける「紛争地域および高リスク地域(CAHRA)」の定義

紛争地域および高リスク地域は、武力による紛争、広範にわたる暴力、もしくは人々に危害が及ぶその他のリスクの有無によって識別される。

武力による紛争は様々な形をとることがあり、例えば、2カ国ないしそれ以上が関与することもある、解放戦争、反乱、内戦などによることもある、国際的もしくは非国際的対立などである。

高リスク地域には、政情不安や抑圧、制度上の欠点、不安定などが見られる地域や、国内のインフラが崩壊した地域、さらに暴力が広範におよんでいる地域などがある。これらの地域では広範におよぶ人権侵害や、国内法または国際法違反が見られる。

EUは第一弾として、CAHRA及びその他サプライチェーンリスク特定のための強制力のないガイドラインを公表済み。

<https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX%3A32018H1149>

EU、OECD、RMI等は、地域の特定に役立つよう具体的なCAHRAハンドブックを準備中。それまでは、どこの地域がCAHRAに該当するかは個社判断。

2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

3) Does 100 percent of the cobalt originate from recycled or scrap sources?

3) コバルトの100%がリサイクル又はスクラップ資源を由来としていますか？

- Yes :** 全て、リサイクル又はスクラップ資源を由来としている場合。
No : 一部でも、天然資源(採鉱された資源)を由来としている場合。
Unknown : 全てがリサイクル又はスクラップ資源を由来としているか、不明の場合。

収集したCRTの回答全てが、「Yes」としてなっている場合、貴社の回答も「Yes」となる。

1社でも「No」があれば、貴社の回答は「No」となる。

2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

4) What percentage of relevant suppliers have provided a response to your supply chain survey?

4) サプライチェーン調査に回答した関連するサプライヤーは何パーセントですか？

調査すべきサプライヤーから回収した割合に従って、選択肢から選ぶ。

- | | |
|--------------------|----------|
| - 100% | - 100% |
| - Greater than 90% | - 90% 超 |
| - Greater than 75% | - 75% 超 |
| - Greater than 50% | - 50% 超 |
| - 50% or less | - 50% 以下 |
| - None | - なし |

2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

5) Have you identified all of the smelters supplying the cobalt to your supply chain?

5) 貴社のサプライチェーンにコバルトを供給する全ての製錬業者を特定しましたか？

- Yes :** サプライチェーン上の全ての製錬業者を特定した場合。
- No :** サプライチェーン上の1ヶ所でも製錬業者を特定できていない場合。
- Unknown:** サプライチェーン上の全ての製錬業者を特定したかどうか不明な場合。

下記4項目を全て網羅している場合のみ、「Yes」と回答できる。

- ・貴社が調査対象とする全ての会社からCRTを回収している
(=**自社の設問4**)の回答が“**100%**”となる)
 - ・回収した全てのCRTの設問**4**)の回答が“**100%**”と回答している
 - ・回収した全てのCRTの設問**5**)の回答が“**Yes**”と回答している
 - ・回収した全てのCRTの設問**6**)の回答が“**Yes**”と回答している
- なお、DDの結果で、製錬業者が全て特定された場合もある。

2. CRT記入要領 (Declaration 1～6)

6) Has all applicable smelter information received by your company been reported in this declaration?

6) 貴社は受領した該当する全ての製錬業者情報を、この申告で報告していますか？

Yes : 受領した製錬業者情報を、貴社が全て報告している場合。

No : 受領した製錬業者情報の一部でも、貴社が報告していない場合。

Unknown: 不明な場合。(この選択肢を選ぶことはない筈)

通常は、「Yes」回答かと思いますが、サプライヤーとの守秘義務などの理由で一部でも貴社が情報を報告できない場合は、「No」となる。

2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

A. Have you established a publicly available cobalt sourcing policy?

A. 公に利用可能なコバルトの調達方針を確立しましたか？

Yes : 確立している場合。

No : 確立していない場合。

B. Does your policy cover, at a minimum, all risks in the OECD Due Diligence Guidance Annex II Model Policy, as well as the worst forms for child labor?

B. 貴社の方針は、OECDデューディリジェンスガイダンス・ANNEX II モデル指針の全てのリスク、および最悪の形態の児童労働を最低限包含していますか？

Yes : 包含している場合。

No : 包含していない場合。

「最悪の形態の児童労働」については、次ページ参照

2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

「最悪の形態の児童労働」の定義

国際労働機関 (ILO)「最悪の形態の児童労働条約 (第182号)」
(1999年) より

https://www.ilo.org/tokyo/standards/list-of-conventions/WCMS_238996/lang--ja/index.htm

- a. 児童(18歳未満)の人身売買、武力紛争への強制的徴集を含む強制労働、債務奴隷などのあらゆる形態の奴隷労働またはそれに類似した行為
- b. 売春、ポルノ製造、わいせつな演技のための児童の使用、斡旋、提供
- c. 薬物の生産・取引など、不正な活動に児童を使用、斡旋または提供すること
- d. 児童の健康、安全、道徳を害するおそれのある労働

2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

C. Have you implemented due diligence measures for cobalt in the declaration scope indicated above?

C. 上記の申告範囲において、コバルトのデューディリジェンス対策を実施しましたか？

Yes : 対策を実施している場合。

No : 対策を実施していない場合。

D. Do you require suppliers to exercise due diligence over the cobalt supply chain in accordance with the OECD Due Diligence Guidance?

D. 貴社は、サプライヤーに対し、OECDデューディリジェンスガイドンスに沿ってコバルトサプライチェーンのデューディリジェンスを実施することを要求していますか？

Yes : 実施を要求している場合。

No : 実施を要求していない場合。

2. CRT記入要領 (Declaration A~I)

E. Do you require your direct suppliers to source cobalt from smelters whose due diligence practices have been validated by an independent third party audit program?

E. 貴社は、貴社の直接サプライヤーに対して、第三者監査プログラムの検証を受けた製錬業者からコバルトを調達することを要求していますか？

Yes : 要求している場合。

No : 要求していない場合。

2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

F. Do you require smelters' due diligence practices to cover, at a minimum, all risks in the OECD Due Diligence Guidance Annex II Model Policy, as well as worst forms of child labor?

F. 貴社は、製錬業者のデューディリジェンス慣行が、OECD デューディリジェンスガイダンスANNEX II モデル指針の全てのリスクおよび最悪の形態の児童労働を最低限包含することを要求していますか？

Yes : 要求している場合。

No : 要求していない場合。

2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

G. Does your company conduct cobalt supply chain survey(s) of your relevant supplier(s)?

G. 貴社は、貴社に関連のあるサプライヤーのコバルトサプライチェーン調査を実施していますか？

Yes, CRT : CRTフォーマットで調査を実施している場合。

Yes, Using Other Format (Describe) :

他のフォーマットで調査を実施している場合。

備考欄に、そのフォーマットを記載ください。

No : 調査を実施していない場合。

2. CRT記入要領 (Declaration A～I)

H. Do you review due diligence information received from your suppliers against your company's expectations?

H. サプライヤーからのデューディリジェンス情報を貴社の期待と照らして検証していますか？

Yes : 検証している場合。

No : 検証していない場合。

I. Does your review process include corrective action management?

I. 貴社の検証プロセスには是正措置管理が含まれていますか？

Yes : 是正措置管理が含まれている場合。

No : 是正措置管理が含まれていない場合。

2. CRT記入要領 (Cobalt Smelterの定義)

RMIによるCobalt Smelter の定義

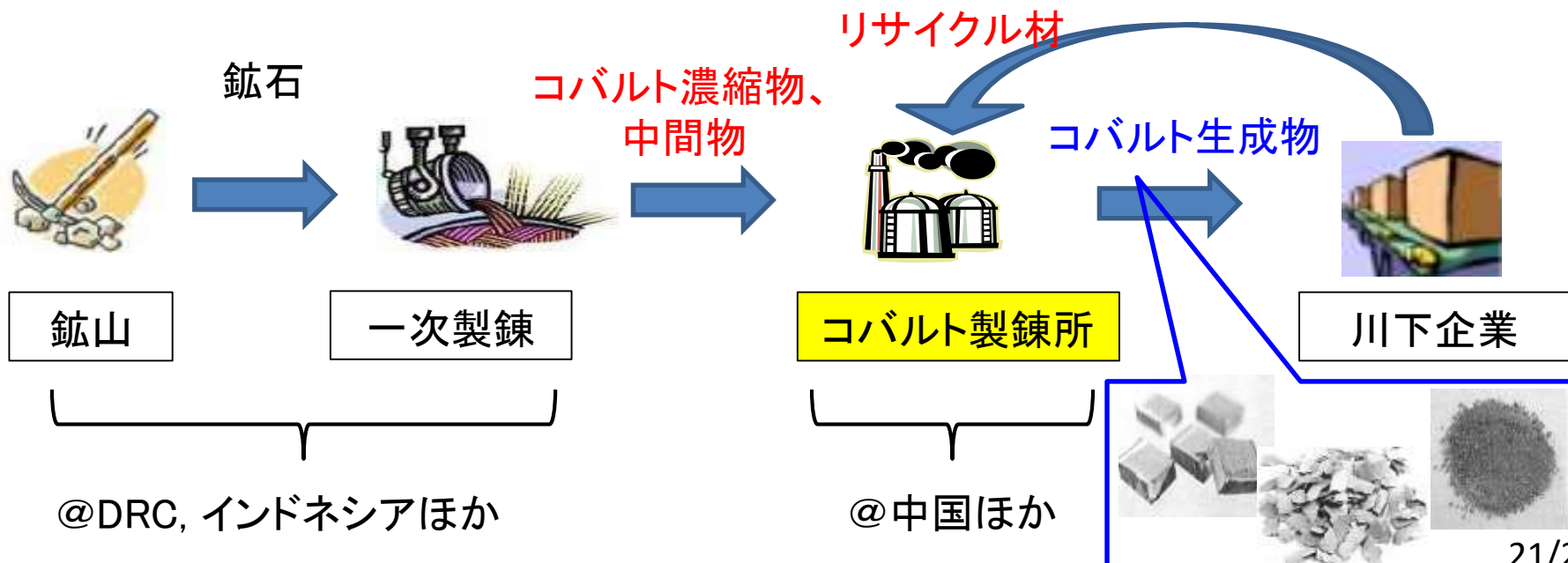
コバルト製錬所とは、**Co濃縮物**、**中間物**又は**リサイクル材**を加工し、川下製造プロセスで直接使用される**コバルト生成物**を製造する企業。

コバルト中間物の例： 精製が不十分な水酸化物・炭酸塩・金属

リサイクル材の例： 工業スクラップまたは消費財スクラップ

コバルト製品の例： 電気Co、硫酸Co、Coブリケット、Co粉等

(「**製錬所**」及び「**精錬所**」という用語は、**コバルト**では**互換的**に使われている)



2. CRT記入要領 (Smelter List)

Smelter List 記入方法

初めに、エクセルなどを用いた重複削除、非SSNの場合のWebサイト等による製錬所情報のDDを行って下さい。

- ①CID番号が既知の場合、**A列にCID番号**を入力すると、B, C, E, F, G, I, J列が自動入力されます。従って、本来であれば、**A列にCID番号をペースト**すればよいのですが、**CRT Rev.1.1版では、ロックが掛かってしまっており、A列に入力(ペースト)できません。**

そのため、Smelter Look-up タブから該当するMetalとSmelter Look-upをコピーし、**B列とC列にペースト**するか、次ページの②の方法で入力ください。

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)
Smelter Identification Number Input Column 製錬業者識別番号の入力列	Metal (*) 金属	Smelter Look-up (*) 製錬業者名検索	Smelter Name (1) 製錬業者名 (1)	Smelter Country (*) 製錬業者所在地: 国	Smelter Identification 製錬業者識別番号	Source of Smelter Identification Number 製錬業者識別番号の発行元	Smelter Street 製錬業者所在地: 番地	Smelter City 製錬業者所在地: 市	Smelter Facility Location: State / Province 製錬業者所在地: 州/県
CID003226	Cobalt	Freeport Kokkola		FINLAND	CID003226	RMI		Kokkola	Central Ostrobothnia

記入方法は、Smelter List Sheet上段の「TO BEGIN (開始するには)」にも記載されています。

2. CRT記入要領 (Smelter List)

Smelter List 記入方法

②CID番号が不明の場合、**B列で「Cobalt」**を選び、**C列で該当製錬業者名**を選択すると、E, F, G, I, J列が自動入力されます。

B列、C列にコピー＆ペーストすることも可能ですが、C列の記載内容に不備がある場合は、SSNであっても、E, F, G, I, J列には自動入力されません。

また、C列に選択肢がない(SSNでない)場合は、**B列で「Cobalt」**を選んだ上、**C列では「Smelter Not Listed」**を選び、**D列に製錬業者名、E列に同所在国名**を記載下さい。ここまでは必須です。また、**H列～P列**も、可能な限り入力して下さい。

③特定できていない製錬所がある場合は、**B列で「Cobalt」**を選び、**C列は「Smelter Not Yet Identified」**を選んで下さい。

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)
Smelter Identification Number Input Column 製錬業者識別番号の入力列	Metal (*) 金属	Smelter Look-up (*) 製錬業者名検索	Smelter Name (1) 製錬業者名 (1)	Smelter Country (*) 製錬業者所在地: 国	Smelter Identification 製錬業者識別番号	Source of Smelter Identification Number 製錬業者識別番号の発行元	Smelter Street 製錬業者所在地: 番地	Smelter City 製錬業者所在地: 市	Smelter Facility Location: State / Province 製錬業者所在地: 州/県
	Cobalt	Freeport Kokkola		FINLAND	CID003226	RMI		Kokkola	Central Ostrobothnia
	Cobalt	Smelter Not Listed				Enter smelter details			
	Cobalt	Smelter Not Yet Identified							

2. CRT記入要領 (Product List)

Product List 記入方法

申告範囲が“**B: Product**”の場合、対象となる製品リストの**記載必須**

製造者の製品番号 (**必須**): 該当製品のメーカー品目番号を記載
製造者の製品名: 必要に応じ、品目説明を記入
備考: 必要に応じ、記載

Manufacturer's Product Number (*)	Manufacturer's Product Name	Comments

製造者の製品番号(*)	製造者の製品名	備考

2. CRT記入要領 (Checker)

注意

Checker による確認

必要項目への記入終了後、Checkerタブを開き、記入漏れがないか確認ください。

- ✓ Checkerタブ内の項目で、背景が緑転せず、赤いままになっている項目は記入漏れ。
- ✓ CRT Rev.1.1版には、下記のバグがありますが、無視して下さい。
質問1を「Yes」回答し、かつ、Smelter Listに入力しているにも関わらず、
57行目の「Smelter List - Cobalt」が赤色背景のままで、
「Declaration(申告)タブの質問1にお答えください」
と表示されます。

3. RMI ウェブサイトの活用方法 (CRT関連)

(2018/12/12時点)

RMI Home Page: <http://www.responsiblemineralsinitiative.org/>

(1) CRTダウンロード方法

① トップページの上段タブ「Emerging Risks」を押す

informed choices about responsibly sourced minerals in their supply chains.

Get the latest responsible minerals sourcing updates.

Subscribe



② 表示された頁の右にある「Cobalt Reporting Template」を押す

Overview

Mining is an intensive process involving potential social and environmental risks that, if not properly managed, can cause lasting negative impacts. A growing body of research suggests that these risks may be significant and associated with a variety of metals and minerals that extend beyond tin, tungsten, tantalum and gold. Governments, non-governmental organizations (NGOs), investors, customers and other industry stakeholders are increasing their expectations on private sector responsibility to drive responsible behavior deep in their supply chains.

Blockchain

Cobalt Due Diligence

Cobalt Reporting Template

Conflict Affected and High-Risk Areas

Indonesia Tin Working Group

次ページへ

3. RMI ウェブサイトの活用方法 (CRT & FAQ)

Home | About | Responsible Minerals Assurance Process | CMRT | Training & Resources | Standards Development | Emerging Risks | Events | Database

Cobalt Reporting Template

RMI has launched a pilot Cobalt Reporting Template (CRT) for the identification of choke points and collection of due diligence information in the cobalt supply chain. The pilot phase will run from 1 March 2018 to 31 August 2018 and refinements and continuation of the tool will be assessed at the close of the pilot. The objectives of piloting the Cobalt Reporting Template are to:

- Understand its use/uptake in the supply chain
- Gain insight, collect, and analyze information the CRT provides (e.g., list of cobalt refiners, data on cobalt supply chain, current cobalt risk management practices)

③ 「Download CRT」を押す

DOWNLOAD THE COBALT REPORTING TEMPLATE HERE

Download CRT

FOR A LIST OF CURRENTLY IDENTIFIED COBALT REFINERS, [CLICK HERE.](#)

(2) Co製錬所リストダウンロード方法

① 「Download CRT」ボタン右下にある「[HERE](#)」を押す

なお、初回のみ、「Terms & Conditions」への同意が必要（次ページ参照）

② 頁の右にある「[Download Data](#)」を押す

Download Data

METAL ▲	SMELTER REFERENCE	STANDARD SMELTER NAME	COUNTRY	SMELTER ID	CITY	STATE PROVINCE
Cobalt	Freeport Kokkola	Freeport Kokkola	FINLAND	CID003226	Kokkola	Central Ostrobothnia
Cobalt	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	CHINA	CID003227	Ganzhou	Jiangxi

3. RMI ウェブサイトの活用方法 (Co Smelter List)

「Terms & Conditions」を読んだ後、
最下段の「I Accept」を押す

Thank you for your interest in the information you have selected to view, please review the following Terms & Conditions, before clicking "I AGREE".

information you have selected to view, please review the following Terms & Conditions, before

Terms & Conditions

1. The RMI information, resources, and content (the "Information"), including, without limitation, all information, resources, and content provided on or through this website, is provided for informational purposes only and is current as of the date set forth therein. Any inaccuracy or omission in the Information is not the responsibility of the Responsible Business Alliance, a Delaware non-stock corporation ("RBA") or of the Global e-Sustainability Initiative, a Belgian international not-

⋮

Click the I DO NOT ACCEPT button if you do not accept these Terms and Conditions. You must click I ACCEPT to access, download and use the Information.

I Accept

DO NOT ACCEPT

(3) FAQ (Frequently Asked Questions)掲載場所

前述の「Download CRT」部を更に下にスクロールすると、FAQあり

Frequently Asked Questions

FAQは、適宜、
更新される

- What is the Cobalt Reporting Template (CRT)?

- The Cobalt Reporting Template (CRT) is a free, standardized reporting template created by the Responsible Business Alliance® (RBA®). The CRT facilitates the exchange of information through the supply chain regarding mineral

⋮

2. CRT記入要領 (Smelter Look-up より)

CRT Rev.1.1に掲載のコバルト製錬所リスト

Metal	Smelter Look-up (*)	Standard Smelter Names	Smelter Country	Smelter ID	Smelter City	Smelter State / Province
Cobalt	Freeport Kokkola	Freeport Kokkola	FINLAND	CID003226	Kokkola	Central Ostrobothnia
Cobalt	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	Gangzhou Yi Hao Umicore Industry Co.	CHINA	CID003227	Ganzhou	Jiangxi
Cobalt	Ganzhou Highpower Technology Co., Ltd.	Ganzhou Highpower Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003384	Ganzhou	Jiangxi
Cobalt	Ganzhou Tengyuan Cobalt New Material Co., Ltd.	Ganzhou Tengyuan Cobalt New Material Co., Ltd.	CHINA	CID003212	Ganzhou	Jiangxi
Cobalt	Gem (Jiangsu) Cobalt Industry Co., Ltd.	Gem (Jiangsu) Cobalt Industry Co., Ltd.	CHINA	CID003209	Taixing	Jiangsu
Cobalt	Glencore Nikkelverk Refinery	Glencore Nikkelverk Refinery	NORWAY	CID003403	Kristiansand	Vestlandet
Cobalt	Guangdong Jiana Energy Technology Co., Ltd.	Guangdong Jiana Energy Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003291	Guangzhou	Guangdong
Cobalt	Guangxi Yinyi Advanced Material Co., Ltd.	Guangxi Yinyi Advanced Material Co., Ltd.	CHINA	CID003213	Yulin	Guangxi
Cobalt	Hunan Brunp Recycling Technology Co., Ltd.	Hunan Brunp Recycling Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003219	Changsha	Hunan
Cobalt	Jiangsu KKK Cobalt Nickel Metal Co., Ltd.	Gem (Jiangsu) Cobalt Industry Co., Ltd.	CHINA	CID003209	Taixing	Jiangsu
Cobalt	Jiangsu Xiongfeng Technology Co., Ltd.	Jiangsu Xiongfeng Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003293	Haimen	Jiangsu
Cobalt	Jiangxi Jiangwu Cobalt Industry Co., Ltd.	Jiangxi Jiangwu Cobalt Industry Co., Ltd.	CHINA	CID003377	Ganzhou	Jiangxi
Cobalt	Jingmen GEM Co., Ltd.	Jingmen GEM Co., Ltd.	CHINA	CID003378	Jingmen	Hubei
Cobalt	Lanzhou Jinchuan Advanced Materials Technology Co., Ltd.	Lanzhou Jinchuan Advanced Materials Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003210	Lanzhou	Gansu
Cobalt	Nantong Xinwei Nickel & Cobalt Hightech Development Co., Ltd.	Nantong Xinwei Nickel & Cobalt Hightech Development Co., Ltd.	CHINA	CID003221	Haimei	Jiangshu
Cobalt	New Era Group Zhejiang Zhongneng Cycle Technology Co., Ltd.	New Era Group Zhejiang Zhongneng Cycle Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003398	Shaoxing	Zhejiang
Cobalt	Quzhou Huayou Cobalt New Material Co., Ltd.	Quzhou Huayou Cobalt New Material Co., Ltd.	CHINA	CID003255	Quzhou	Zhejiang
Cobalt	Sheritt	Sheritt	CANADA	CID003242	Toronto	Ontario
Cobalt	SungEel HiMetal Co., Ltd.	SungEel HiTech Co.,Ltd.	KOREA, REPUBLIC OF	CID003338	Gunsan-si	Jeollabuk-do
Cobalt	SungEel HiTech Co.,Ltd.	SungEel HiTech Co.,Ltd.	KOREA, REPUBLIC OF	CID003338	Gunsan-si	Jeollabuk-do
Cobalt	Tianjin Maolian Science & Technology Co., Ltd.	Tianjin Maolian Science & Technology Co., Ltd.	CHINA	CID003215	Tianjin	Tianjin
Cobalt	Umicore Olen	Umicore Olen	BELGIUM	CID003228	Olen	Antwerp
Cobalt	Zhejiang Huayou Cobalt Co.,Ltd.	Zhejiang Huayou Cobalt Co.,Ltd.	CHINA	CID003225	Tongxiang	Zhejiang
Cobalt	Zhuhai Kelixin Metal Materials Co., Ltd.	Zhuhai Kelixin Metal Materials Co., Ltd.	CHINA	CID003211	Zhuhai	Guangdong

Smelter Look-up(通称)は異なるが、同じStandard Smelter Names(正式名)の製錬所が2社ある(CID003209, CID003338)ため、**実質的には22社**がリストアップされている。

適宜更新される製錬所情報は、RMIウェブサイトで確認のこと。

但し、新たなSmelter IDが付与されていても、Rev.1.1では「**Smelter Not Listed**」での記載が必要